

2 流域及び河川の自然環境

2 - 1 流域の自然環境

最上川流域は磐梯朝日国立公園をはじめ8箇所が自然公園に指定されており、自然がおりなす優れた景観と環境を形成している。また、流域の周辺には、ブナをはじめとする原生林やその他の広葉樹林が広く分布しており、さらに高地には、ハイマツ、シャクナゲ群系の高山植物がみられる。一方、盆地部や平野部は、耕地として利用されているところが多く、自然植生はほとんど見られない。

鳥類ではオジロワシ、オオタカをはじめとする貴重種が生息しており、冬季にはハクチヨウの飛来地として知られている。魚類ではウケクチウグイ、スナヤツメ等の貴重種が生息しており、この他では流域ないの沼地や溜池に山形県の天然記念物に指定されているテツギョの生息が確認されている。また、ビワヒガイ、ギギ、ブラックバスといった本来山形県の河川には生息していない国内移入種および外来種の生息も確認されている。

昆虫類は山間部の谷あるいは溪流沿いにムカシヤンマ、タガメ、ゲンジボタル等が生息しており、ガロアムシについては国内で最初に発見された地となっている。両生類については主に水質の清浄な河川の上流域でモリアオガエル、トウホクサンショウウオ、クロサンショウウオ、ハコネサンショウウオが生息している。

各地に原生林の残る最上川流域では、ニホンカモシカをはじめ数多くの哺乳類、爬虫類等が生息しており、生物の生息地として概ね良好な環境を保っているといえる。

2 - 2 河川内の自然環境

(1) 上流部

源流部から米沢盆地に至る上流部は、川の流れが山岳地帯の安山岩を削りながら、幾つかの滝を形成し、瀬や淵を繰り返す自然豊かな渓流域となっている。河岸にはブナをはじめとする原生林が残り、その生い茂った枝葉によって陰ができた淵には、渓流を好むイワナや瀬の礫底には、水温が低く水の澄んだ場所に生息するカジカが見られる。



最上川の源流部 河口から229km

第3回

「最上川・赤川写真コンテスト」より



出典：山海堂「川の生物図典」写真：増田修

イワナ *Salvelinus leucomaenis* サケ目サケ科

日本産の淡水魚の中ではもっとも標高の高いところに生息し、本州の中部山岳地帯ではほぼ標高900～2300mに生息する。夏季の水温が13～15℃を上限とする河川の上流域の淵を中心に生息し、カワゲラ、トビゲラなどの水星昆虫や落下昆虫を主に摂餌する。



カジカ *Cottus pollux* カサゴ目カジカ科

河川の主に上流に生息し、水温が低く水の澄んだ瀬の礫底にすむ。現在は各地で激減しており、日本固有種で国外には分布しない。食肉性で、主に付着性の水生昆虫をとるが、他に流下昆虫、底生小動物、小魚なども捕食する。

出典：山海堂「川の生物図典」写真：杉山秀樹

(2) 中流部

盆地と狭窄部を流下する中流部は、盆地では川幅が広く砂州を伴い蛇行している。河床はほとんどが礫・砂・泥となり、広い高水敷や瀬、淵を形成している。広い高水敷の多くは農耕地として利用され、その他の場所は、水際に流水の影響をよく受け、陽当たりのよい場所を好む、イヌコリヤナギやタチヤナギが繁茂し、陸域には適度に湿った土地を好むシロヤナギ、エノキの高木林が分布している。河床が礫で瀬と淵が連続している場所には淵にウグイが、瀬と淵の間にオイカワが生息している。狭窄部は、礫・砂・泥層を浸食しながら河岸段丘を形成し、河床には砂岩や凝灰岩が露出している。河岸には水湿のある低地に生えるハンノキが見られ、その川前にはある程度安定した水辺に繁茂するヨシ群落やオギ群落が草原を形成し、ハタネズミの営巣地となっている。特に最上峡は、山間を縫うように流下し、露出した岩肌と、その河岸には陽当たりのよい山地に見られる落葉樹であるコナラやミズナラが生い茂り、そのコントラストは最上川を代表する景勝となっている

米沢盆地

河口から191.7km付近



山形工事

- ・川幅が広く砂州を伴い蛇行している。
- ・広い高水敷の多くは農耕地として利用されている。
- ・水際にはイヌコリヤナギやタチヤナギが繁茂している。
- ・陸域にはシロヤナギやエノキの高木林が分布している。
- ・淵にはウグイが瀬と淵の間にはオイカワが生息している。



出典：山海堂「川の生物図典」写真：奥田重俊

イヌコリヤナギ *Salix integra* 被子植物双子葉離弁花類ヤナギ科

河川の中流から下流域の、流水の影響をよく受ける陽当たりのよい場所に生育し、石礫から泥質まで様々な土壌に見られるが、地下水位が高く比較的安定した基盤に生育するようである。また、河原に集まる多くの鳥類にねぐらを提供している。



写真：奥田重俊

タチヤナギ *Salix subfragilis*

被子植物双子葉離弁花類ヤナギ科

主に河川の中流から下流にかけての陽当たりのよい泥湿地に生育し、樹高は3~6m位になる。5~7月頃、白い綿毛をつけた寿命の短い種子が飛び散る。河岸のヤナギ林は川面に陰を作り、ウグイなどの魚が集まる。



写真：奥田重俊

シロヤナギ *Salix jessoensis* 被子植物双子葉離弁花類ヤナギ科

陽当たりのよい湿地や河岸に生え、北海道と本州の中部地方以北、特に東北地方に多く分布する。6~7月頃、蒴果が2裂して種子が飛び出し、風に乗って移動する。流路変更によってできた開けた砂礫地などに発芽・生育するため、高木林がある場所は以前、川筋だったことが多い。



エノキ *Celtis sinensis* var. *japonica*

被子植物双子葉離弁花類ニレ科

河川の中流から下流にかけての泥湿地の乾燥しかかった場所に生育し、本州、四国、九州などに分布する。河川ではヤナギ林の下に生え、土壌乾燥が進むにつれヤナギ林に取って代わるため、高木林がある場所はある程度乾燥した場所といえる。

出典：山海堂「川の生物図典」写真：奥田重俊

狭窄部 河口から91.1km付近



- ・河岸段丘が形成されている
- ・河床には砂岩や凝灰岩が露出している。

山形工事

狭窄部（最上峡） 河口から33km付近



- ・山間を縫うように流下し、河床には岩が露出している。
- ・河岸には山地に見られるコナラやミズナラが生息している。

新庄工事

(3) 下流部

最上峡をぬけ扇状地を形成しながら庄内平野を流下し、日本海へ至る下流部は、河床勾配が緩く、川幅も広くなり、広い高水敷にはヨシ・オギが密生し、ヨシ原やオギ原を形成している。ヨシ原の川側には、コップ状のイネ科の植物を組んだ吊り巣を作るオオヨシキリが見られる。水際の砂や砂礫の河原には、石の陰や砂地のくぼみに営巣する千鳥類が生息し、水深の浅い水辺で歩きながら小魚などを捕食するサギ類が生息する。また、流れが緩い深みで河床が砂や礫の場所にはカマツカが生息し、匍匐型の水生昆虫を少しずつ移動しながら摂餌している。

庄内平野を流下する最上川 河口から21km付近



第9回「最上川・赤川写真コンテスト」より

- ・河床勾配が緩く、川幅も広がっている。
- ・広い高水敷にはヨシ・オギが密生している。
- ・ヨシ原にはオオヨシキリが見られる。
- ・砂や砂礫の河原にはチドリ類が営巣している。
- ・流れが緩い深みで、河床が砂や礫の場所にはカマツカが生息している。



出典：山海堂「川の生物図典」写真：鈴木茂也

オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus*
スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科
全長約18cm、翼を広げた大きさは約26cmでスズメよりやや大きく、主に河岸、湖沼の岸、休耕田などのヨシ原に生息する。巣は密生した3~4本のヨシにまたがって、高さ1m位のところにかけてられる。巣材はイネ科植物の葉や茎が主体で、濡れた巣材を用いてコップ状の吊り巣を雌がつくる。ある程度規模の大きい密集したヨシ原でなければ営巣しない。



イカルチドリ *Cbaradrius placidus* チドリ目チドリ科
全長約21cm、翼を広げた大きさは約41cmでムクドリぐらいの大きさがあり、非繁殖期には数羽～十数羽の群で、中州、河原、水田などにすむ。人やカラスなどが卵や雛に近づくと、親は盛んに擬傷して注意を逸らす。警戒心が強い。河原ではコアジサシやコチドリと一緒に営巣する。

出典：山海堂「川の生物図典」写真：ネイチャープロ



カマツカ *Pseudogobio esocinus* コイ目コイ科
河川の中流ないし下流域の河床が砂・砂礫の場所に生息し、岩手県、山形県以南の本州、四国、九州などに分布する。底生生活に適応しているため、腹側が扁平で、口は下方に開き、匍匐型の水生昆虫や甲殻類、藻類を食べる。行動範囲は狭く、1～2cmずつ移動しながら摂餌する。

出典：山海堂「川の生物図典」写真：OP0

2 - 3 特徴的な河川景観や文化財等

1) 景観

最上川は古くからその山紫水明を詠われており、特に松尾芭蕉、斎藤茂吉などは全国的に知られており、彼らの縁の地として来訪する観光客も多い。

最上川の観光で代表的なものといえば三難所・大石田・最上峡の舟下りで、最上峡に至っては年間30万人以上の乗船客数を誇る。この他には大江町、白鷹町の観光築や、各地で夏の風物詩となっている花火大会も県内外から多くの観光客を集めている。

また、景勝地としては五百川峡、楯山公園、碁点、最上峡等が挙げられるが、平成10年3月に「最上川の良い眺めを得られる地点"最上川ビューポイント"」として、最上川沿川の10地点が選定されている。

これらの観光・景勝地で特に最上川との係わりの深いものについて、表2 - 1および表2 - 2に示す。

表2 - 1 最上川と係わりの深い観光

| 観光・景勝地 | 期間 | 地域 | 距離標 |
|----------------------|-------------|------|--------------|
| スワンパーク | - | 酒田市 | CS35 |
| 白糸の滝 | - | 戸沢村 | 3.5 |
| 仙人堂 | - | 戸沢村 | 3.8 |
| 最上峡レジャーランド | - | 戸沢村 | 8.5 |
| 最上峡芭蕉ライン | - | 戸沢村 | 3.6 ~ 13.2 |
| 奥の細道舟番所跡 | - | 戸沢村 | 12.8 |
| 道の駅所沢 | - | 戸沢村 | 15.4 |
| 芭蕉乗船の地 | - | 新庄市 | 22.0 |
| 稲沢の渡し | 通年 | 新庄市 | 27.0 |
| 最上紅花ライン | 通年 | 大石田町 | 42.0 ~ 59.4 |
| 舟役所跡 | - | 大石田町 | 59.2 |
| 最上川三難所舟下り | 通年 | 村山市 | 0Y22 ~ MR0 |
| 大楨地区農村公園 (龍神の吊り橋) | - | 村山市 | 0Y39 |
| 道の駅河北 | - | 河北町 | MR46 |
| 中山緑地公園 | - | 寒河江市 | MR95 ~ MR100 |
| 楯山公園 | - | 大江町 | AS15 |
| 道の駅おおえ | - | 大江町 | AS20 |
| 大江ふるさと観光ヤナ | 春 ~ 秋 (9月末) | 大江町 | AS20 ~ AS21 |
| ダイカイギウ化石発掘跡 | - | 大江町 | AS36 |
| 上郷ダム公園 | - | 朝日町 | AS66 |
| あゆ茶屋観光築 | 4月末 ~ 11月中 | 白鷹町 | AS90 |
| 孫六清水 | - | 白鷹町 | AS93 |
| さくら堤 | - | 全域 | - |

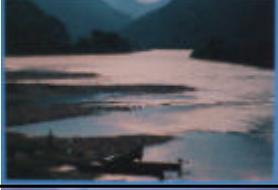
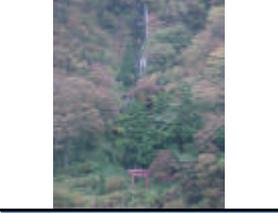
「山形の観光」山形県観光物産課出版より

表2 - 2 - 1 最上川の景勝地・ビューポイント

| 地 点 名 | 場 所 | 写 真 |
|--------------------|--------------------|---|
| 松川白川合流点 ビューポイント | 長井市豊田地区河井左岸 |  |
| 最上川鉄橋 ビューポイント | 白鷹町大字荒砥甲字七反一 右岸 |  |
| 五百川峡 | 朝日町大字西船渡付近 |  |
| 明鏡橋上流 ビューポイント | 朝日町大字玉ノ井字坂外左岸 |  |
| 楯山公園 ビューポイント | 大江町大字左沢字楯山左岸 |  |
| 大淀 ビューポイント | 村山市大字大淀字向田右岸 |  |
| 碁点 | 村山市稲下 碁点橋下流付近 |  |

ビューポイントは「最上川」ビューポイントマップ」(山形県文化環境部文化振興課)より抜粋
 その他は山形工事

表 2 - 2 - 2 最上川の景勝地・ビューポイント

| 地 点 名 | 場 所 | 写 真 |
|--------------------|----------------|---|
| 川前観音堂 ビューポイント | 大石田町大字川前字八ヶツ山 |  |
| 芭蕉乗船の地 ビューポイント | 新庄市大字本合海字本合海右岸 |  |
| 角川合流点 ビューポイント | 戸沢村大字古口字古口左岸 |  |
| 最 上 峡 | 戸沢村大字古口より下流 |  |
| 白 糸 の 滝 | 戸沢村大字土湯 |  |
| 眺 海 の 森 ビューポイント | 松山町大字土淵字大平右岸 |  |
| スワンパーク ビューポイント | 酒田市大字堤町右岸 |  |

ビューポイントは「“最上川”ビューポイントマップ」(山形県文化環境部文化振興課)より抜粋
 その他は山形工事

2) 文化財及び遺跡等

最上川流域には、数多くの史跡及び天然記念物が存在しているが、最上川流域における文化財及び遺跡の内、最上川と関わりが深いものは県指定天然記念物で天童市及び東根市のイバラトミヨ生息地と国指定天然記念物のヤマネである。

表 2 - 3 最上川に関係の深い天然記念物

| No | 種別 | 指定区分 | 名称 | 市町村 |
|----|-------|------|----------------------------|------------|
| 1 | 天然記念物 | 県指定 | 天童市高木地区及び東根市羽入地区のイバラトミヨ生息地 | 天童市 東根市 |
| 2 | 天然記念物 | 国指定 | ヤマネ | 山形県 |

「山形県内指定文化財目録」より

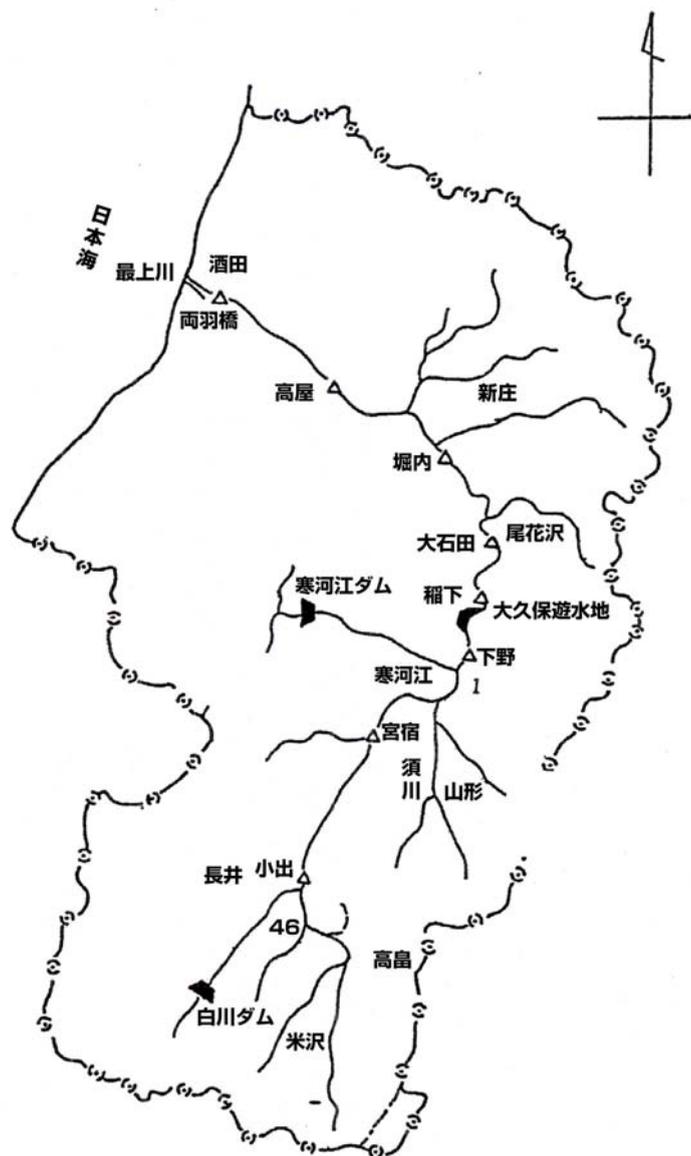


図 2 - 1 最上川流域の天然記念物分布図

2 - 4 自然公園等の指定状況

環境法律のうち自然保護関連の法律として、自然環境保護法（条例）、自然公園法及び鳥獣保護及狩猟に関する法律があげられる

これらの適用を受ける範囲を表2 - 4にまとめる。

表2 - 4 最上川流域と環境関連法律との関わり

| 法律名 | 適用区域名等 | 備考 | |
|-------------------|-------------|---|-----|
| 自然環境保全法 | 県自然環境保全地域 | ヌルマタ沢・野川、今神山、大沢川源 流部、沼の口湿原 | |
| 自然公園法 | 国立公園 | 磐梯朝日 | |
| | 国定公園 | 蔵王、栗駒 | |
| | 県立自然公園 | 御所山、県南、加無山、天竜高原、最上川 | |
| 鳥獣保護及狩猟二 関スル法律 | 鳥獣保護区 | 大鳥朝日、飯豊山、神室、吾妻、千眼寺、袖浦、蔵王、高滝不動、御所山、大井沢、大蔵東根、愛宕山、沼山、八向山、金山、白川、月山、大頭森山、細野、関山、今袖、高坂、木地山・野川、羽黒山、山寺、経塚山、千歳山、出羽三森、東沢公園、清川、大沼、左沢、松山、東陽、田麦野、鮎貝 | |
| 都市計画法 | 都市計画区域 | 山形広域、寒河江、河北、西川朝日、大江、村山、東根、尾花沢、大石田、新庄、金山、最上真室川、米沢、南陽、高畠、川西、長井、白鷹、酒田、余目、藤島 | |
| | 都市計画公園 | 349箇所 1,486.3ha | |
| | 都市計画緑地 | 27箇所 1,138.45ha | |
| | 風致地区 | 2箇所 505.0ha | |
| 文化財保護法 | 国 指 定 | 史 跡 | 6件 |
| | | 名 勝 | 2件 |
| | | 名勝史跡 | 1件 |
| | | 天然記念物 | 7件 |
| | | 名勝史跡天然記念物 | 2件 |
| | 県 指 定 | 史 跡 | 34件 |
| | | 名 勝 | 1件 |
| | | 天然記念物 | 44件 |
| | | 名勝史跡天然記念物 | 2件 |

注) : 計画策定区間に関わるもの
「山形県内指定文化財目録」より